



2026年10月5日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 あ み や き 亭
代表者名 代表取締役会長兼社長 佐藤 啓介
(コード：2753 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 執行役員 管理本部長 田村 剛
(TEL. 0568-32-8800)

第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2026年4月3日に公表いたしました2027年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と、本日公表の実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2027年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

(金額単位：百万円未満切捨)

1. 2027年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異(2026年4月1日～2026年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,000	百万円 1,140	百万円 1,160	百万円 650	円 銭 31.64
今回実績値 (B)	19,960	847	901	362	17.64
増減額 (B-A)	△39	△292	△258	△287	—
増減率 (%)	△0.2%	△25.6%	△22.3%	△44.2%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2026年3月期第2四半期)	18,136	986	1,035	540	26.32

差異の理由

第2四半期累計期間における連結業績につきましては、売上高は概ね計画どおりに推移いたしましたが、利益面につきましては、原材料価格の上昇や人件費、物流費、水道光熱費等の店舗運営コストの増加に加え、販売促進費等が当初の想定を上回ったことにより、売上原価率および販売費及び一般管理費率が上昇し、収益性が低下いたしました。また、減損損失を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益についても当初予想を下回りました。

以上の結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも前回発表予想を下回りました。

2. 2027年3月期通期連結業績予想の修正(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 41,100	百万円 2,500	百万円 2,540	百万円 1,450	円 銭 70.57
今回修正予想 (B)	41,060	2,000	2,070	1,070	52.08
増減額 (B-A)	△40	△500	△470	△380	－
増減率 (%)	△0.1%	△20.0%	△18.5%	△26.2%	－
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	37,711	2,209	2,344	1,270	61.84

修正の理由

物価上昇に伴う原材料費の増加、人件費及び物流費の増加、エネルギー価格の高騰に伴う水道光熱費の上昇並びに販促活動費の増加により、利益水準は当初想定を下回っております。これらの影響は下期以降も継続すると見込まれることから、通期の利益水準についても当初予想を下回る見通しとなりました。

また、外部環境の不確実性に加え、飲食料品の値上げに伴う消費者の節約志向の高まりも業績に影響を及ぼしております。

これらを総合的に勘案し、通期の業績予想を修正することといたしました。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

以上